


2017年12月期第2四半期 決算説明会資料

2017年8月9日



目次

I . 2017年12月期第2四半期決算概要	P3
II . 2017年12月期業績予想	P16
III . 中期経営計画T-2018 進捗ご報告	P22



I . 2017年12月期第2四半期 決算概要

2017年12月期第2四半期(1-6月)トピックス

■ 事業環境

- カーボンブラック: 第1四半期に引き続き、タイヤメーカーからの引き合いが高水準で推移し、販売数量増加。原料油価格上昇に伴う販売価格の改定もあり、販売単価も上昇。
- 黒鉛電極: 需給不均衡の構造は継続するも、市場は一時的な電極不足に陥っており、当社も足元フル稼働が続く。顧客はすでに来年分の電極確保に動いており、商談時期も早期化。当社は国内向けで4月以降4万円/トン、さらに10月以降6万円/トンの値上を発表。
- ファインカーボン: 太陽電池、半導体市場は回復傾向で市場価格下落に底打ち感あり。前年実施した事業再構築の効果現出。原材料価格上昇に伴い、15%の値上げを発表。

■ 業績動向

- 売上: カーボンブラックの数量増・売価上昇などにより前年同期比9.6%増
- 営業利益: 売上増要因に加え、前年計上された一過性の費用(貸倒引当金繰入、研究開発費等の一括計上)や固定費削減効果などから前年同期比大幅増益

■ 業績見通しの修正(7月31日付)

- 前回(5月9日付)見通しの売上高、営業利益等を上方修正。カーボンブラックの伸びが牽引。

連結業績サマリー

- 構造改革効果現出、成長軌道へ
- 前年同期に発生の一過性費用(約17億円)も増益要因に
- 特別利益で約30億円計上(固定資産売却益等)

(百万円)

	2016年1-6月	2017年1-6月	増減額	増減率
売上高	44,872	49,184	4,312	9.6%
営業利益	▲80	4,228	4,309	—
経常利益	▲235	4,924	5,160	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲5,900	5,854	11,755	—

連結対象会社(2017年6月30日現在)

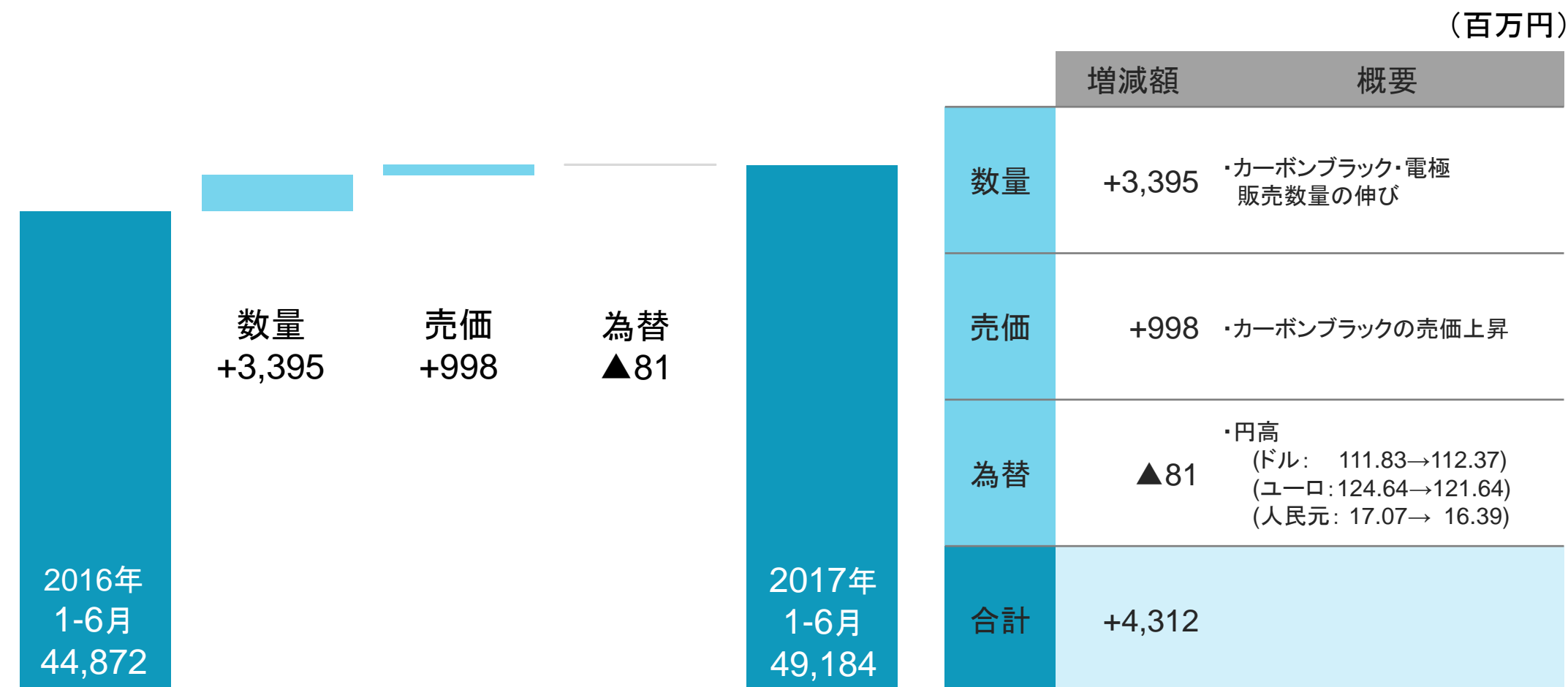
- 連結子会社 24社
- 持分法適用会社 4社

1-6月平均為替レート

- 2016年 \$1=¥111.83 €1=¥124.64
- 2017年 \$1=¥112.37 €1=¥121.64

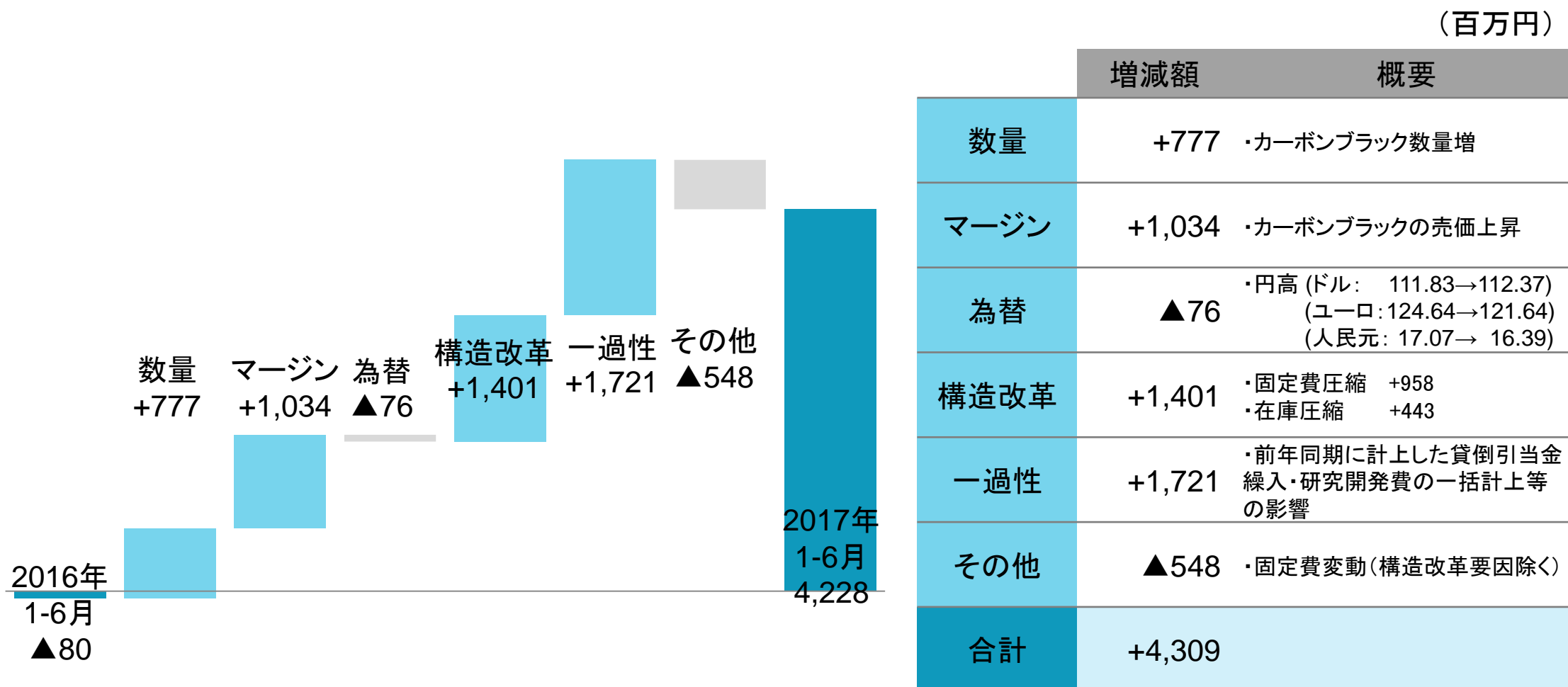
売上高増減分析

- 売上高は前年同期比で約10%増
- 主な要因はカーボンブラックの数量増と売価上昇



営業利益増減分析

- 営業利益回復
- 主な要因は、構造改革等の効果現出に加え、カーボンブラック事業環境の回復



セグメント別売上高・営業利益

- セグメント別では、カーボンブラックが前年同期比で増収増益により大きく貢献
- 構造改革効果の現出により、全事業部とも前年同期比で利益率回復

(百万円)

		売上高			営業利益		
		2016年1-6月	2017年1-6月	増減額	2016年1-6月	2017年1-6月	増減額
カーボンブラック		18,297	23,504	+5,207	1,892	3,397	+1,504
黒鉛電極		10,833	9,657	▲1,176	▲370	25	+395
ファインカーボン		6,770	6,845	+74	▲1,254	390	+1,645
工業炉関連		2,956	2,822	▲133	381	512	+131
その他	摩擦材	3,768	4,146	+378	-	-	-
	負極材	2,159	2,082	▲76	-	-	-
	その他	86	125	+38	-	-	-
		6,014	6,354	+340	297	451	+154
調整		-	-	-	▲1,027	▲548	+478
合計		44,872	49,184	+4,312	▲80	4,228	+4,309

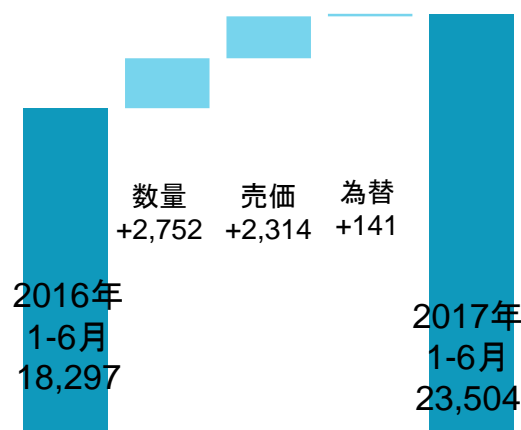
カーボンブラック

- 中国カーボンブラックメーカーの攻勢が弱まるなか、タイヤメーカーからの引き合いも活発化しており販売数量が増加。また原料油価格上昇に伴う販売価格改定等により、売上高は前年同期比で約3割増加した
- 海外子会社のマージン改善が進んだことを受け、営業利益は前年同期比で大幅に増加した

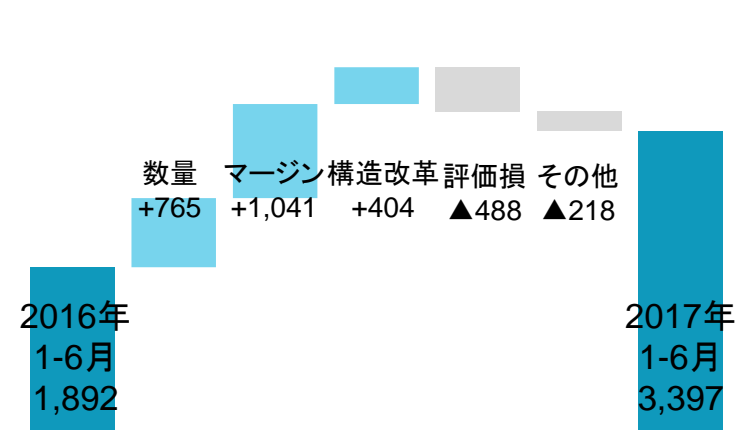
(百万円)

	2016年 1-6月	2017年 1-6月	増減額	増減率
売上高	18,297	23,504	+5,207	+28.5%
営業利益	1,892	3,397	+1,504	+79.5%
ROS	10.3%	14.4%		

売上高増減分析



営業利益増減分析

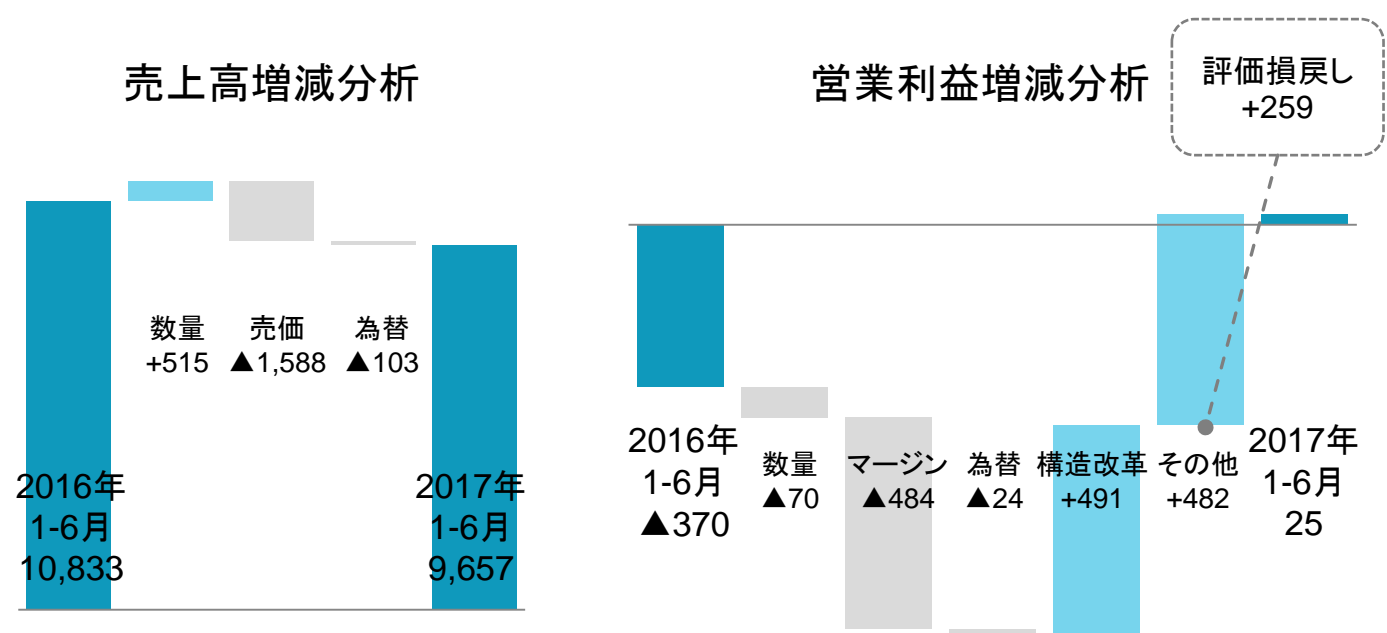


黒鉛電極

- グローバルベースの売価は前年同期比下落し売上高は減少
- 営業利益は、売価下落の影響が大きかったものの、構造改革の効果現出により前年同期比では増益となった

(百万円)

	2016年 1-6月	2017年 1-6月	増減額	増減率
売上高	10,833	9,657	▲1,176	▲10.9%
営業利益	▲370	25	+395	—
ROS	▲3.4%	0.2%		



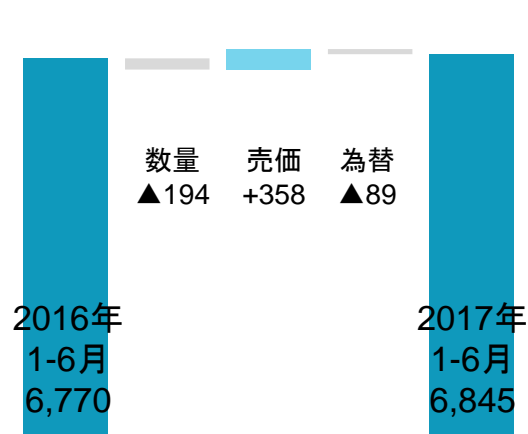
ファイナカーボン

- 売上高は、前年同期比ほぼ横ばい
- 前年同期に発生した一過性損失要因(米国顧客に対する債権回収懸念による貸倒引当金繰入等約8億円、長期在庫の評価損3億円)がなくなり利益回復
- 構造改革の効果現出もあり前年同期比で営業利益増

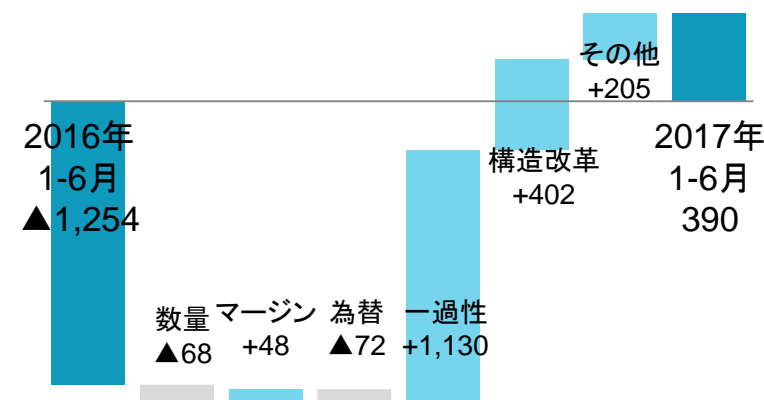
(百万円)

	2016年 1-6月	2017年 1-6月	増減額	増減率
売上高	6,770	6,845	+74	1.1%
営業利益	▲1,254	390	+1,645	—
ROS	▲18.5%	5.6%		

売上高増減分析



営業利益増減分析



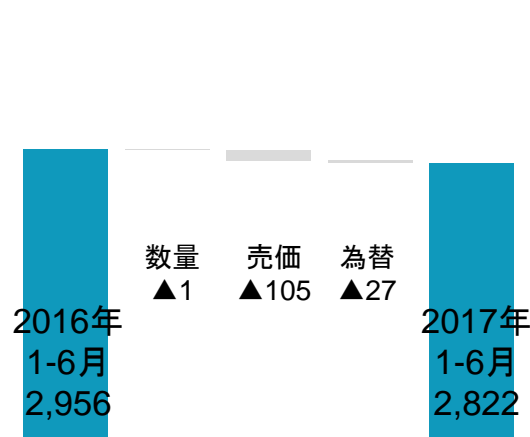
工業炉及び関連製品(東海高熱工業(株))

- 発熱体その他製品は電子部品業界向けに堅調に推移したものの、工業炉のエネルギー関連業界向け販売減少により売上高微減
- 営業利益は、工業炉の特需並びに発熱体製品における中国の子会社の収益改善等が寄与し前年同期比増加した

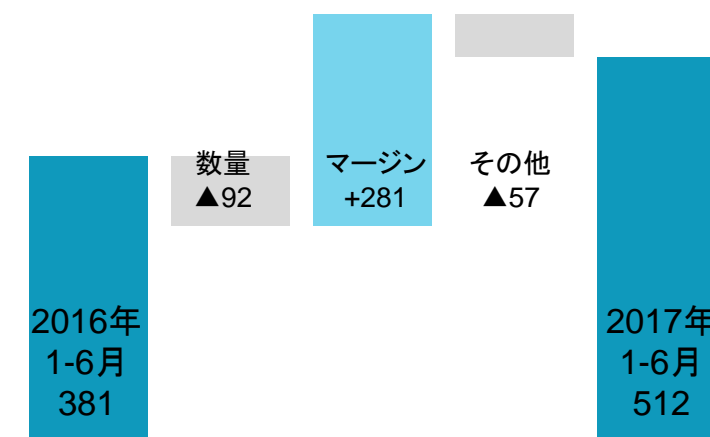
(百万円)

	2016年 1-6月	2017年 1-6月	増減額	増減率
売上高	2,956	2,822	▲133	▲4.5%
営業利益	381	512	+131	34.5%
ROS	12.9%	18.1%		

売上高増減分析



営業利益増減分析



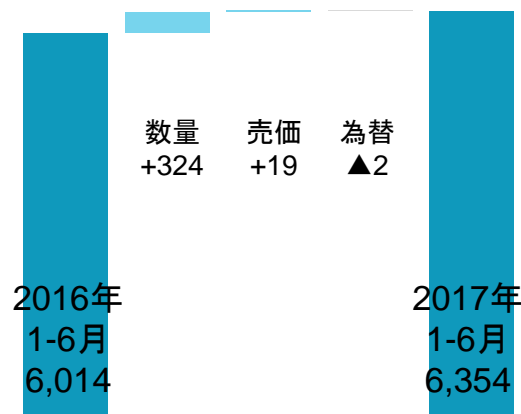
その他(摩擦材・LiB負極材・不動産)

- 摩擦材は、建設機械向け、農業機械向け、工作機械向けの伸長により前年同期比10.1%増収
- リチウムイオン二次電池用負極材の売上高は、販売数量が客先の生産調整により減少した結果、前年同期比3.6%減

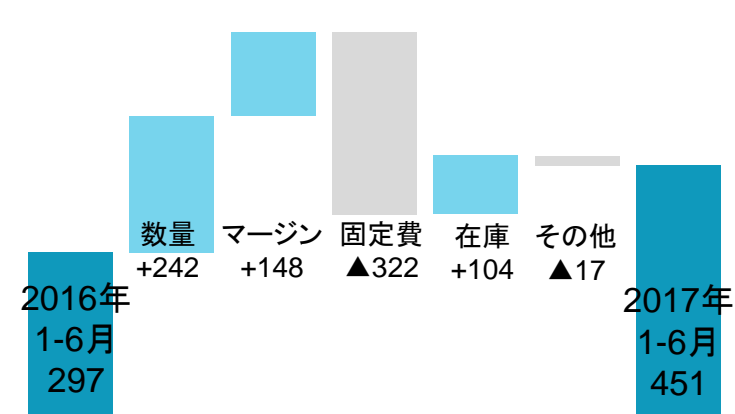
(百万円)

	2016年 1-6月	2017年 1-6月	増減額	増減率
売上高	6,014	6,354	+340	5.7%
営業利益	297	451	+154	51.9%
ROS	4.9%	7.0%		

売上高増減分析



営業利益増減分析



キャッシュ・フロー

(百万円)

主なキャッシュ・フロー項目

	2016年1-6月	2017年1-6月	概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,933	5,223	
税金等調整前当期純利益	▲5,342	7,772	
減価償却費	4,008	3,216	
減損損失	6,487	—	
有形固定資産売却損益	▲1,376	▲2,475	・前期棚卸資産の圧縮が一巡したため棚卸資産増減が減少 ・前期純損失により法人税等の支払額が減少
貸倒引当金増減	438	▲12	
売上債権増減	3,973	▲1,029	
棚卸資産増減	8,707	▲1,803	
法人税等の支払額	▲3,697	▲1,389	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,298	834	
有形固定資産取得	▲2,907	▲2,118	・親会社の土地売却により有形固定資産売却が増加
有形固定資産売却	1,564	2,583	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,732	▲8,762	
短期借入金純増減	▲980	280	・親会社の長期借入返済により減少(60億円)
長期借入れ	—	—	
長期借入れ返済	▲1,034	▲7,295	
現金及び現金同等物期末残高	26,312	25,823	

貸借対照表

(百万円)

主な貸借対照表項目

	2016年12月末	2017年6月末	概要
資産合計	158,824	158,903	
流動資産	77,645	77,386	
現預金	16,528	21,330	
受取手形・売掛金	24,220	25,307	
商品・製品	7,516	6,956	
仕掛品	7,886	8,184	
原材料・貯蔵品	5,330	7,527	
固定資産	81,178	81,516	
有形固定資産	43,122	42,254	
無形固定資産	10,534	10,097	
投資その他の資産	27,521	29,165	
負債合計	45,834	40,341	
流動負債	29,028	23,778	
固定負債	16,806	16,563	
純資産合計	112,989	118,561	
株主資本	99,693	104,863	
その他包括利益累計額	11,296	12,595	
非支配株主持分	1,998	1,103	
負債純資産合計	158,824	158,903	

・固定資産(前期末比+3億38百万円)
資本的支出: 21億42百万円(前年同期比 ▲12億91百万円)
減価償却費: 32億16百万円(前年同期比 ▲7億92百万円)

・有利子負債100億14百万円(前期末比▲70億33百万円)

・自己資本比率73.9%(前年度末69.9%)



Ⅱ. 2017年12月期業績予想

連結業績予想の修正(7月31日発表)

- 黒鉛電極の国内向け販売数量増加で売上高上方修正
- カーボンブラックのマージン回復と黒鉛電極のさらなるコスト削減が進み利益上方修正

(百万円)

	前回(5月9日)業績予想			2017年業績予想(今回発表)			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	47,000	48,000	95,000	49,184	48,816	98,000	+3,000	+3.2%
営業利益	3,100	3,600	6,700	4,228	4,272	8,500	+1,800	+26.9%
経常利益	3,500	4,300	7,800	4,924	4,776	9,700	+1,900	+24.4%
親会社株主に帰属する 純利益	4,700	3,500	8,200	5,854	3,246	9,100	+900	+11.0%
ROS	6.6%	7.5%	7.1%	8.6%	8.8%	8.7%	—	—
ROIC	—	—	5.2%	—	—	6.7%	—	—
ROE	—	—	6.8%	—	—	8.0%	—	—

連結対象会社(2017年6月30日現在)

- 連結子会社 24社
- 持分法適用会社 4社

期中平均為替レート

- 2016年 \$1=¥108.85
- 2017年(3Q以降) \$1=¥105.00 (2Q実績 \$1=112.37)

セグメント別売上高・営業利益予想

(百万円)

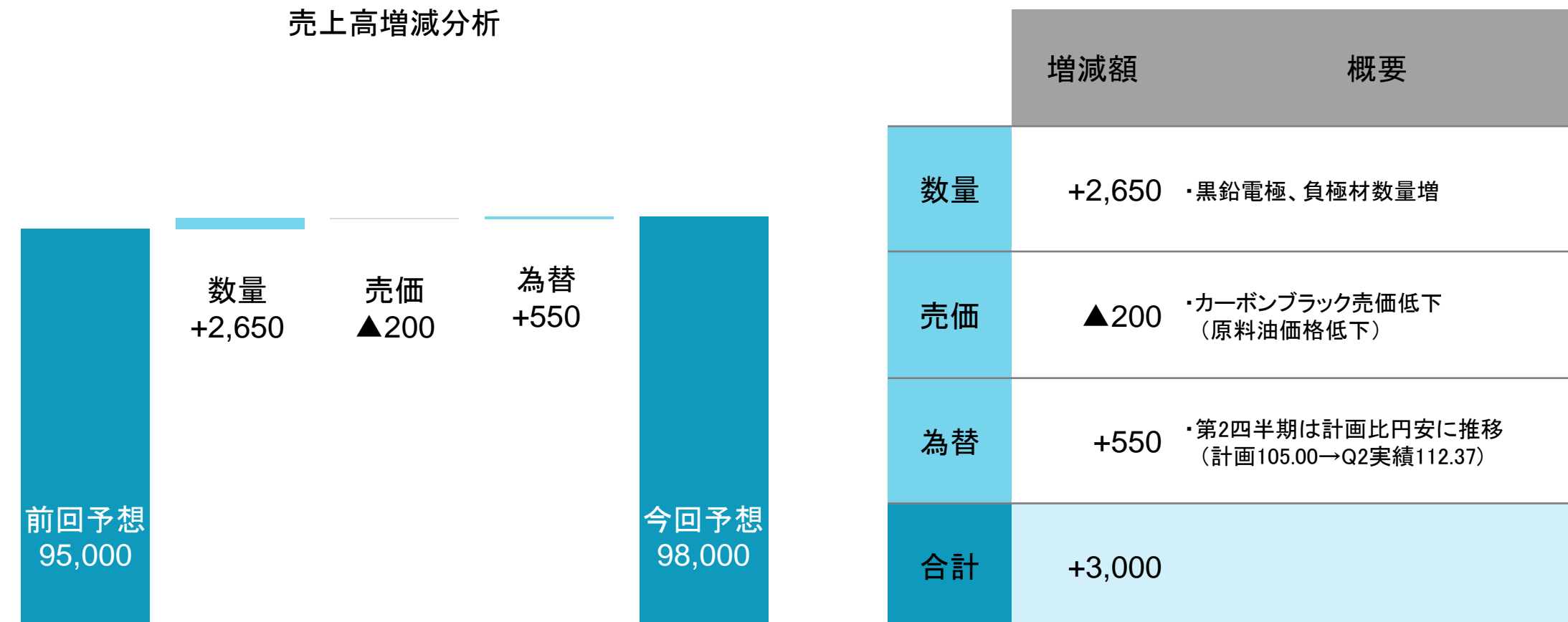
	前回(5月9日発表)業績予想			2017年業績予想(今回発表)			増減額	増減率	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期			
売上高	47,000	48,000	95,000	49,184	48,816	98,000	+3,000	+3.2%	
カーボンブラック	22,900	23,000	45,900	23,504	22,396	45,900	0	+0.0%	
黒鉛電極	8,500	8,200	16,700	9,657	8,943	18,600	+1,900	+11.4%	
ファインカーボン	6,600	6,900	13,500	6,845	6,955	13,800	+300	+2.2%	
工業炉関連	2,800	3,700	6,500	2,822	3,678	6,500	0	+0.0%	
その他	摩擦材	4,100	4,100	8,200	4,146	4,294	8,440	+240	+2.9%
	負極材	2,000	2,000	4,000	2,082	2,458	4,540	+540	+13.5%
	その他	100	100	200	125	95	220	+20	+10.0%
	その他計	6,200	6,200	12,400	6,354	6,846	13,200	+800	+6.5%
営業利益	3,100	3,600	6,700	4,228	4,272	8,500	+1,800	+26.9%	
カーボンブラック	2,800	2,400	5,200	3,397	2,603	6,000	+800	+15.4%	
黒鉛電極	▲100	100	0	25	275	300	+300	—	
ファインカーボン	200	800	1,000	390	810	1,200	+200	+20.0%	
工業炉関連	400	500	900	512	588	1,100	+200	+22.2%	
その他	400	400	800	451	549	1,000	+200	+25.0%	
調整	▲600	▲600	▲1,200	▲548	▲552	▲1,100	+100	—	

前回見通しとの増減分析 (売上高)

- 黒鉛電極、負極材の販売量増等により、前回予想比30億円上方修正

(百万円)

売上高増減分析

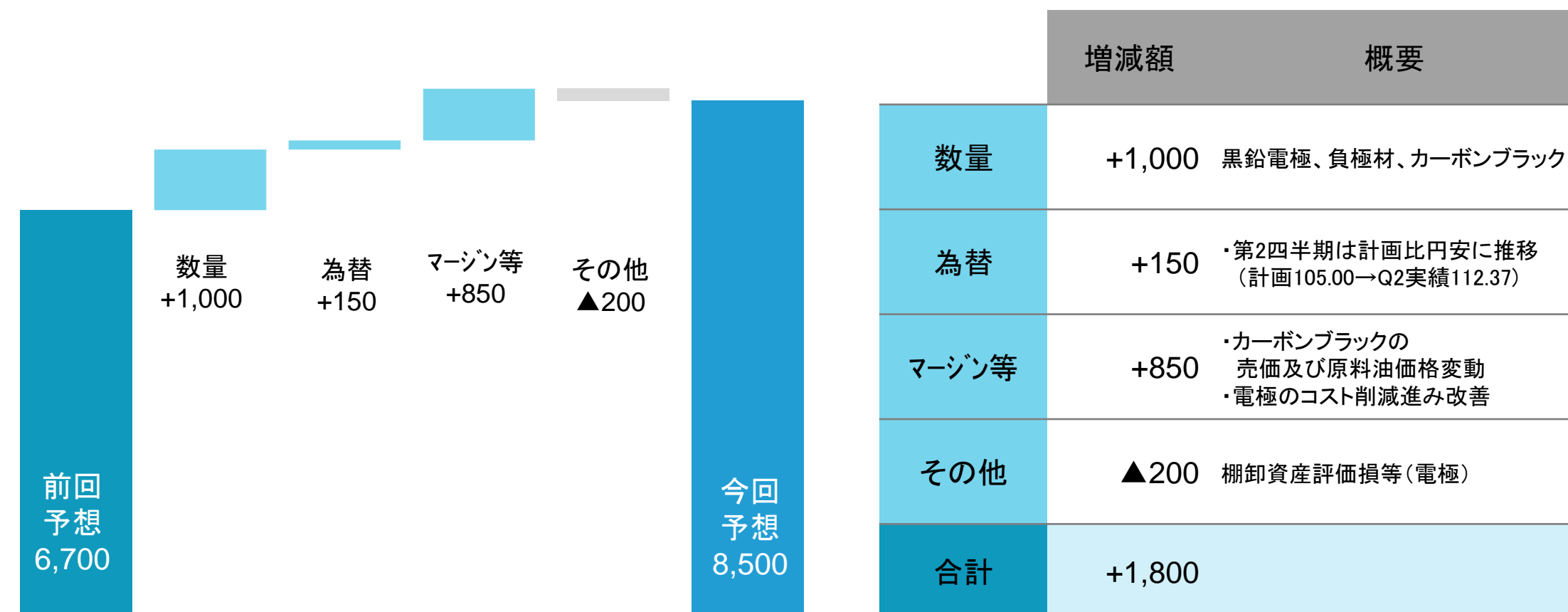


前回見通しとの増減分析 (営業利益)

- 国内向けの黒鉛電極販売量増加
- カーボンブラックの原料油価格低下、電極のコスト削減寄与

営業利益増減分析

(百万円)



中間配当

中間配当
1株当たり 6円

(年間配当予想
一株当たり 12円)

配当基本方針

- 安定的・継続的配当
- 配当性向目安 30%
- 各期の業績見通し、財務状況を勘案
- 2017年業績上方修正を受け、
2017年度配当予想も修正する



2017年中間配当を一株当たり6円とする
2017年期末配当は一株当たり6円の見通し

一株当たり配当額と配当性向の推移

	単位	2014	2015	2016	2017	
		通期	通期	通期	上期	下期
一株当たり配当額	円	6	6	6	6	6
配当性向	%	50	52	-	28	

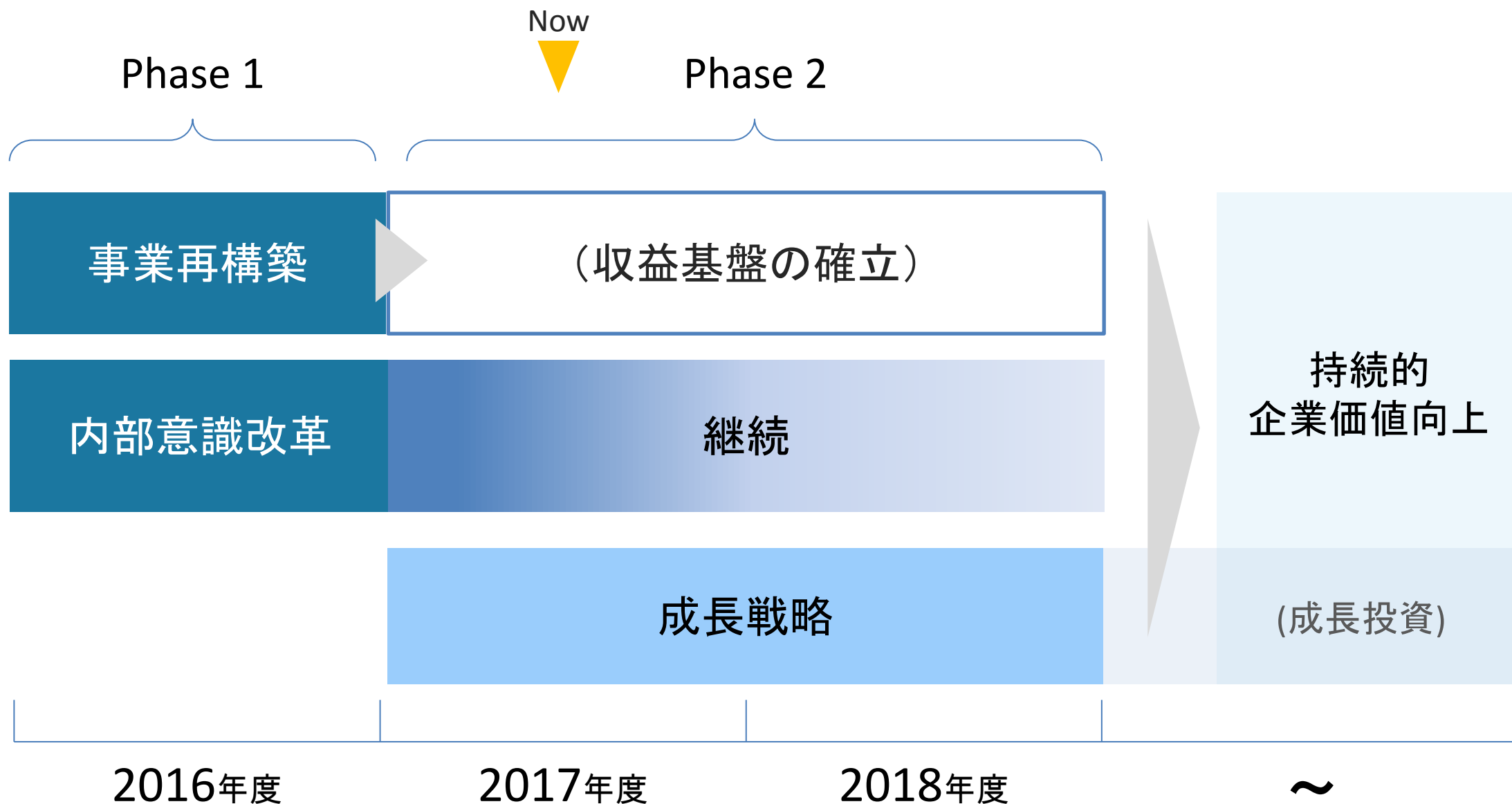


Ⅲ. 中期経営計画T-2018進捗ご報告

Prologue to the Next hundred

T-2018 全体像

3カ年経営計画の位置づけ



T-2018 数値目標

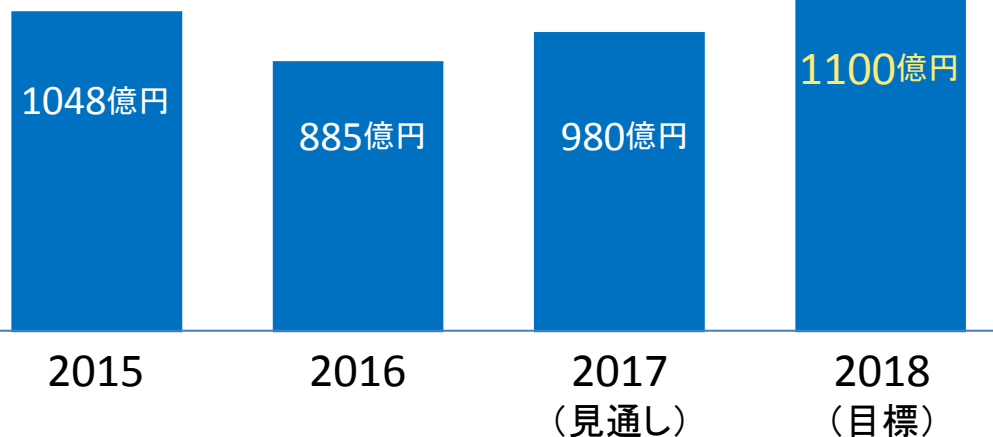
売上1100億円 営業利益90億円 ROS 8%

2018年度 目標

実績と見通し

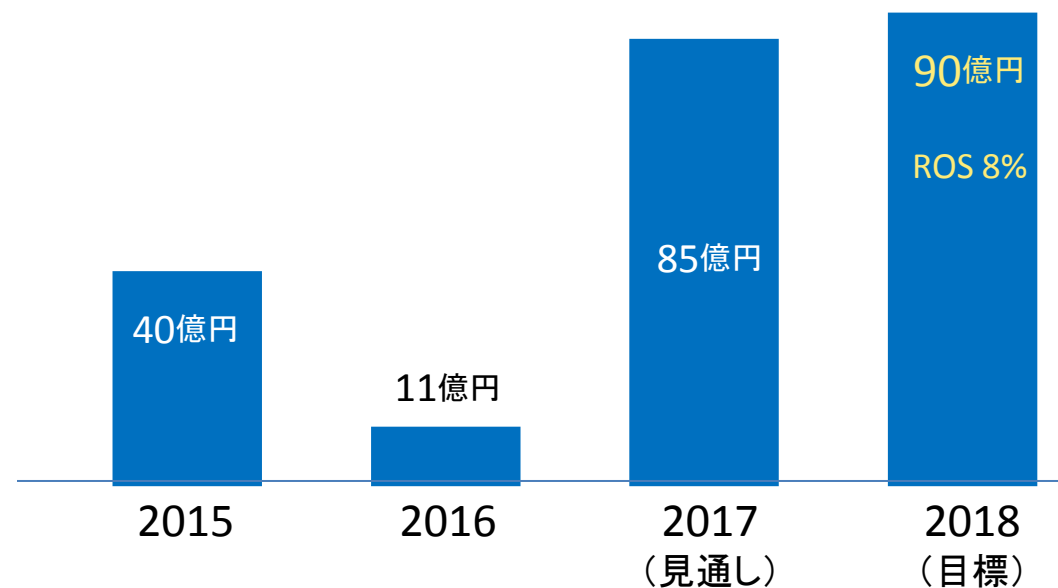
売上

- 1100億円
- 売上微増



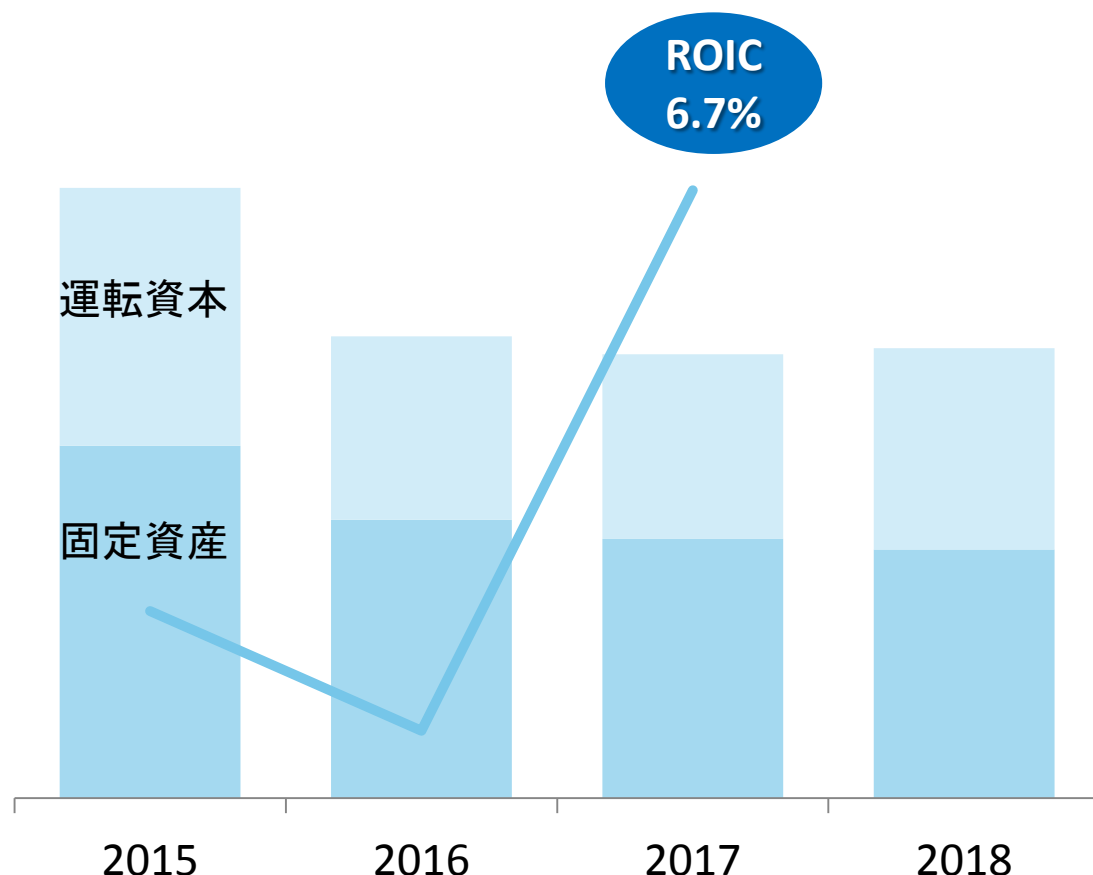
営業利益

- 90億円
- ROS 8%以上
- 営業利益率改善



ROIC数値目標

収益率回復、固定資産圧縮、ノンコア事業売却、在庫削減



在庫圧縮

全部門で135億円 (2016年度)

固定資産削減

ファインカーボン生産能力削減

カーボンブラック生産能力削減

東海高熱遊休資産の売却

名古屋グリーン倶楽部土地等売却

主要事業部門で約100億円減損 (2016年度)

成長戦略へ



2016年実施の事業再構築

カーボンブラック生産拠点の最適化
 ファインカーボン事業の構造改革
 要員最適化
 電極事業の業界再編への備え
 資産の圧縮

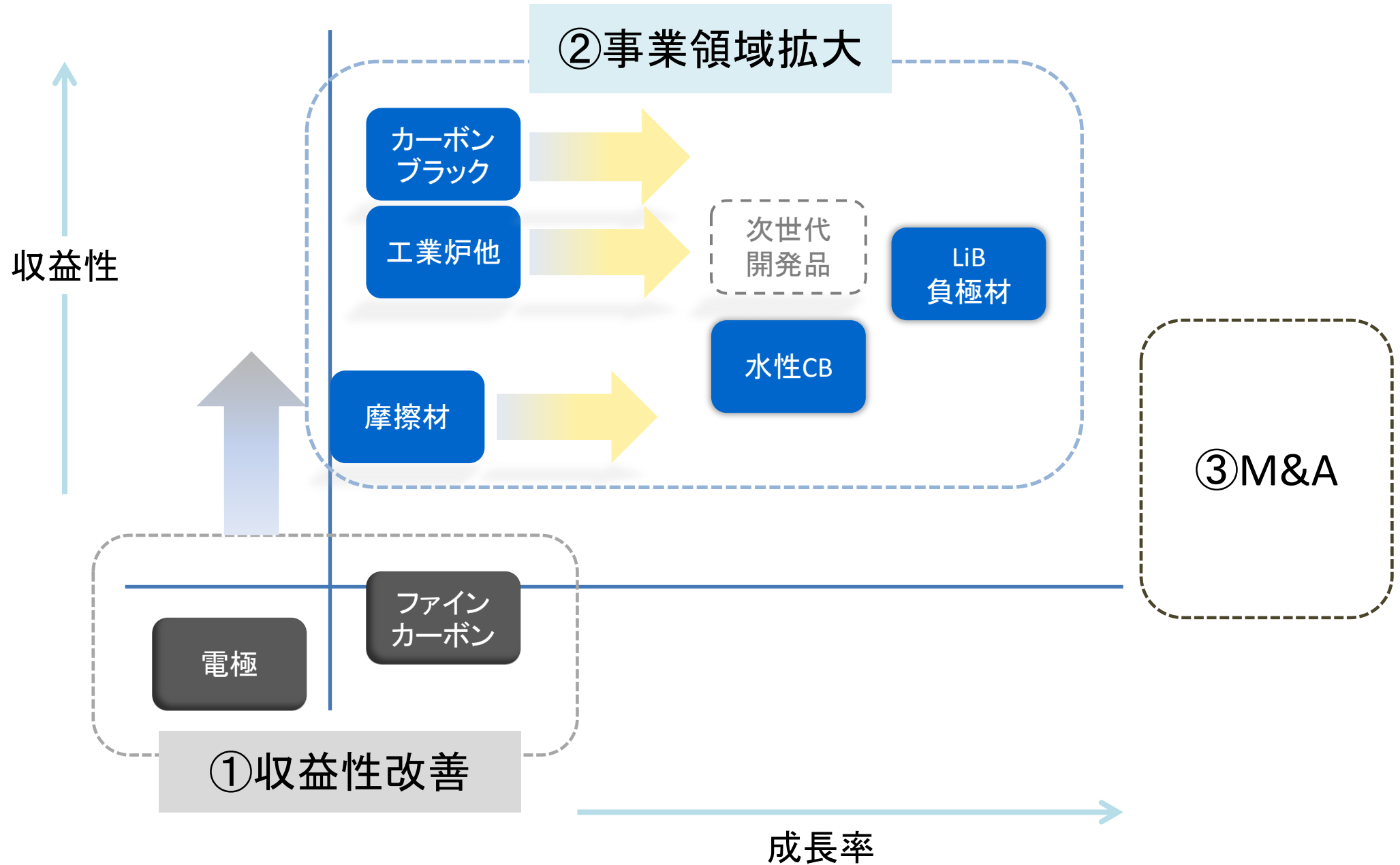
事業環境好転の追い風

カーボンブラック事業の環境改善
 黒鉛電極事業の環境改善

事業部門の市場潜在性に応じた施策

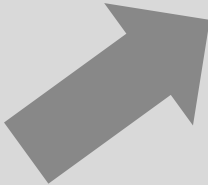
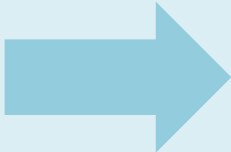
- ①収益性改善(電極・ファインカーボン)
- ②事業領域拡大(カーボンブラック他)
- ③M&A

Phase2 成長戦略の方向性





①収益性改善 黒鉛電極事業

さらなるコスト削減による業界再編への備え

	計画前提	現在の進捗状況	T-2018見通し
事業環境	<ul style="list-style-type: none"> ■世界的な供給過剰状態が継続 ■業界再編の動き始まる ■販売価格底打ちの兆し 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国LiB負極材向け需要が急増し、ニードルコーキスの需給逼迫。一部電極メーカーの生産量にも影響し、一時的に電極需給がタイトに。 ■電極の需要家が数量確保を優先させ、来年度商談が早期化。市況急反転の兆し 	
収益性改善	<ul style="list-style-type: none"> ■製造原価・販売間接費の引下げ ■顧客の生産性向上に貢献する黒鉛電極品質改善品の市場投入 	<ul style="list-style-type: none"> ■製造原価で約7%削減 ■リードタイム短縮、さらなる生産性改善への取組 ■支払い条件改善、短縮化に取組 	

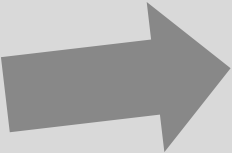

①収益性改善 ファインカーボン事業

拡大分野への展開による反転攻勢へ

	計画前提	現在の進捗状況	T-2018見通し
事業環境	<ul style="list-style-type: none"> ■半導体向け市場は堅調 ■太陽電池市場も回復傾向 ■CIP材需給バランスは改善しつつも未だ能力過多 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般産業用、半導体向け市場は堅調。太陽電池市場は単結晶シリコン引上装置への投資再開 ■CIP材供給能力には余剰があるものの、これまで素材の生産調整を行ってきた影響で一時的に需給バランスがタイト 	
収益性改善	<ul style="list-style-type: none"> ■生産能力の適正化 ■原価低減による収益性向上 ■有機EL関連商品、半導体製造装置用部材市場への積極展開 	<ul style="list-style-type: none"> ■素材・加工の生産性(生産能力)向上 ■一層の品種絞り込み等による収益性向上 ■歩留まり向上、品質改善への取組 ■有機EL関連商品等への出荷拡大 ■黒鉛既存用途での収益改善のため値上取組 	



②事業領域拡大 カーボンブラック事業

成長地域への展開と事業領域の拡大

	計画前提	現在の進捗状況	T-2018見通し
事業環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ゴムの高補強ニーズ高まる ■アジア市場におけるカーボンブラック需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■グローバル生産能力削減がひと段落するなか、環境規制等の影響により中国カーボンブラックメーカーの勢力弱まる。需給タイト化。 ■原料油価格の上昇(販売価格への転嫁) 	
成長戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■高補強カーボンブラック開発推進 ■東南アジア市場への積極展開 ■水性カーボンブラックの販売拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■高補強品(特殊品)が複数社で採用決定 ■東南アジアへ増販 ■水性カーボンブラック増設工事開始(2018前半完了予定) 	

②事業領域拡大 工業炉及び関連製品事業



技術力を活かし成長市場への積極展開

	計画前提	現在の進捗状況	T-2018見通し
事業環境	<ul style="list-style-type: none"> ■スマホ高性能化、車載向け需要増で電子業界成長 ■LiB産業は継続成長。設備投資も活発化 ■中国他インフラ投資堅調 	<ul style="list-style-type: none"> ■前提の通り推移 ■電子部品材料市場は、スマートフォンの高性能化と車載用拡大が進む。LiB市場の投資需要旺盛 	
成長戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■LiB負極材、電子材料市場への熱処理炉拡販 ■特徴ある商品開発で発熱体拡販 ■中国他インフラ需要を取り込み、抵抗器ビジネスを拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■既存事業の成長取組は、確実な前進を見せており、今期当事業は前年比約2割増しの売り上げを見込む ■工業炉、発熱体のLiB関連売上飛躍、拡大 ■抵抗器は生産性改善を含めた増産体制整備中 	

*「工業炉及び関連製品事業」は、当社の100%子会社である東海高熱工業株式会社の事業です



②事業領域拡大 摩擦材

未開拓市場掘り起こしと競争力向上

	計画前提	現在の進捗状況	T-2018見通し
事業環境	<ul style="list-style-type: none"> ■農機・建機業界の緩やかな需要回復 ■海外競合との競争激化 	<ul style="list-style-type: none"> ■前提の通り推移 	
成長戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■不良率、自動化率改善による競争力向上 ■アッセンブリー市場への参入 ■国内外市場での新規拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ■工程指数の向上による不良率減少 ■生産ラインの効率化に取り組中 ■アッセンブリー対応の生産体制を確立(国内で引き合いあり) ■国内、中国向け拡販にて成果現出 	

②事業領域拡大 LiB負極材事業

成長市場の環境車への積極展開により事業拡大

	計画前提	現在の進捗状況	T-2018見通し
事業環境	<ul style="list-style-type: none"> ■燃費規制やCo2排出規制強化 ■欧州、中国を中心とした環境車の本格普及 ■環境車用の高品質LiB負極材需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■前提通りの推移 ■中国にて人造黒鉛系の負極材生産活発化 	
成長戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■環境車の市場拡大に合わせた能力の増強と販売展開 ■新たな高機能負極材の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ■前提通りの推移 ■新たな高機能負極材をサンプル供試 	

③M&A等による成長

製品開発とM&Aによる成長

開発体制

開発戦略本部による研究所との連携
技術本部による技術的知見結集体制

投資方針

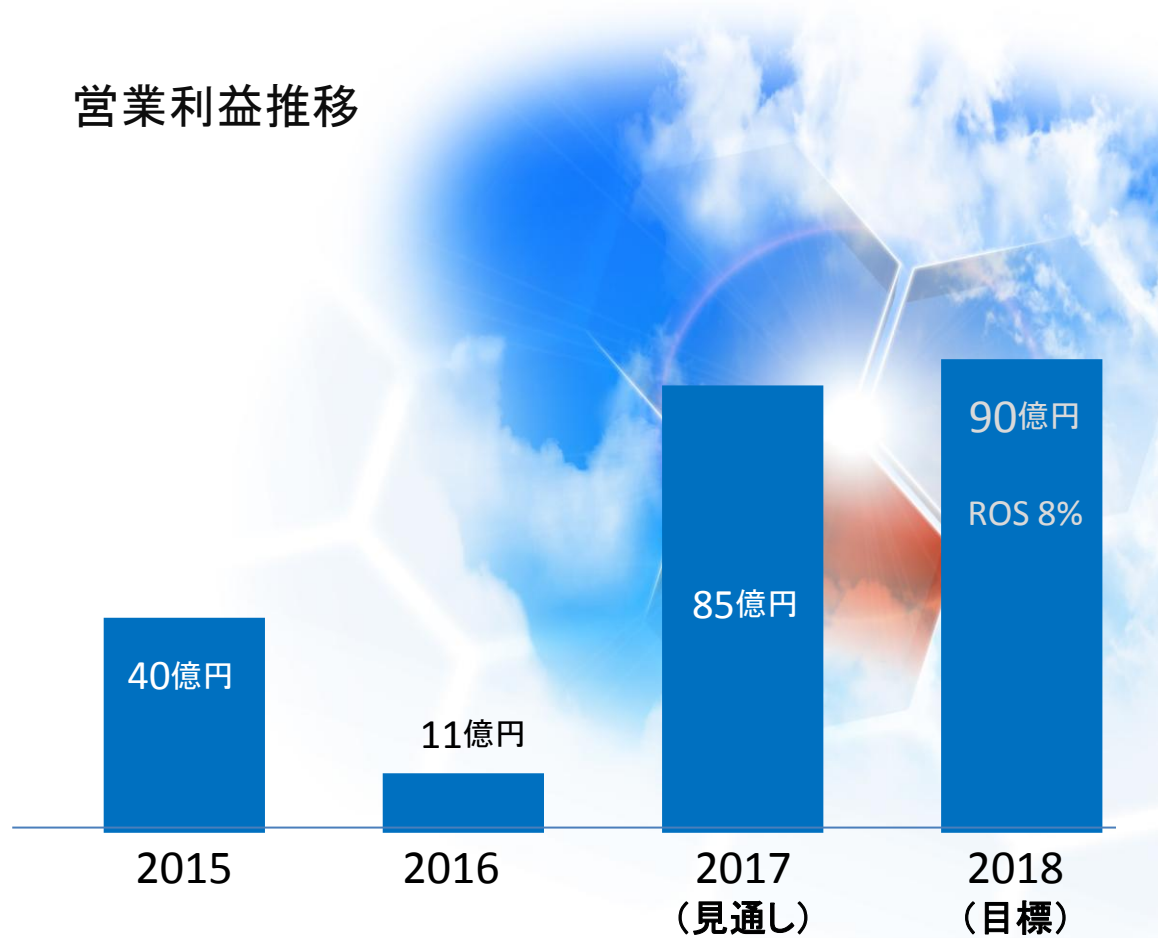
戦略投資枠 約500億円
既存事業の周辺領域も含めた戦略的M&A



事業ポートフォリオ
再構築

2018年度目標値について

営業利益推移



2017-2018

- 経営環境の変化
中国環境規制強化の事業への影響
電極市況の急変
LiB負極材事業の展開
- ノンオーガニック戦略の展開
開発品・M&A



見通し判明次第適時開示

參考資料



セグメント別業績推移(四半期ベース)

f=見通し (百万円)

	2016					2017f				
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	下期f	通期f	
売上高	22,643	22,229	21,501	22,206	88,580	24,104	25,080	48,816	98,000	
カーボンブラック	9,487	8,809	9,507	9,959	37,764	11,344	12,160	22,396	45,900	
黒鉛電極	5,522	5,311	4,810	5,069	20,714	5,136	4,521	8,943	18,600	
ファインカーボン	3,435	3,335	3,038	3,116	12,925	3,394	3,451	6,955	13,800	
工業炉関連	1,240	1,715	1,084	1,202	5,243	1,207	1,615	3,678	6,500	
その他	摩擦材	1,925	1,842	1,873	1,965	7,606	2,033	2,113	4,294	8,440
	負極材	990	1,169	1,135	835	4,130	930	1,152	2,458	4,540
	その他	40	45	49	58	194	58	67	95	220
	その他計	2,957	3,057	3,059	2,859	11,932	3,021	3,333	6,846	13,200
営業利益	557	▲638	551	661	1,131	1,781	2,447	4,272	8,500	
カーボンブラック	1,117	775	1,389	1,472	4,755	1,479	1,918	2,603	6,000	
黒鉛電極	178	▲548	▲456	▲463	▲1,290	144	▲119	275	300	
ファインカーボン	▲804	▲450	▲306	▲264	▲1,825	47	343	810	1,200	
工業炉関連	151	229	61	73	516	195	317	588	1,100	
その他	151	145	117	107	522	209	242	549	1,000	
調整	▲236	▲790	▲254	▲264	▲1,546	▲294	▲254	▲552	▲1,100	

参考数値(連結)

(百万円)

	2013年 12月期	2014年 12月期	2015年 12月期	2016年 12月期	2017年 1-6月
設備投資額	9,007	6,830	5,301	6,013	2,142
減価償却費	8,656	8,629	9,242	8,124	3,216
研究開発費	1,800	1,882	1,822	2,249	786
総資産	183,427	210,439	184,074	158,824	158,903
期末有利子負債残高	25,762	38,290	23,936	17,048	10,014
従業員数	1,916	2,064	2,092	1,980	1,981
為替レート (JPY/USD)	97.65	105.85	121.05	108.85	112.37

主要子会社売上高

(百万円)

子会社	2016年 1-6月	2017年 1-6月	増減額	所在地・事業	概要
TOKAI ERFT CARBON	4,303	4,133	▲169	ドイツ 黒鉛電極	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量増 ・売価減 ・為替▲1億円
THAI TOKAI CARBON PRODUCT	4,581	7,401	+2,820	タイ カーボンブラック	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量増 ・売価増 ・為替差+2億円
東海炭素(天津)	1,680	1,976	+295	中国 カーボンブラック	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量減 ・売価増 ・為替▲1億円
CANCARB LTD.	3,398	3,632	+234	カナダ カーボンブラック	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量増 ・売価減 ・為替差なし

T-2018 主要指標

	(百万円)			
	2015	2016	2017 (見通し)	2018 (目標)
売上	104,864	88,580	98,000	110,000
営業利益	4,088	1,131	8,500	9,000
親会社株主に帰属する純利益	2,484	▲7,929	9,100	-
ROS	3.9%	1.3%	8.7%	8%以上
ROE	2.0%	▲6.8%	8.0%	-
ROIC	2.1%	0.7%	6.7%	6%以上
減価償却費	9,242	8,124	6,774	-
投資額	5,301	6,013	5,219	-
棚卸資産	34,253	20,734	-	-
固定資産	96,106	81,178	-	-

将来の見通しに関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需要動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

IRに関する連絡先

総務部 矢島 nyajima@tokaicarbon.co.jp TEL 03-3746-5148